


川崎市地域女性連絡協議会

活動目標
学習・親睦・奉仕

川女連ホームページ
<https://web-k.jp/kawajoren/>




第119号

令和8年3月28日発行

発行所 川崎市地域女性連絡協議会
〒210-0011 川崎市川崎区富士見2-1-3
教育文化会館内4F

電話 (044) 221-7022

発行人 岩崎香代子

編集 広報部

印刷所 有限会社 協立印刷社



「川女連 休会に当たって」

会長 岩崎 香代子

この度、川崎市地域女性連絡協議会(以下川女連)は令和8年3月末を持ちまして、休会とさせていただくこととなりました。

終戦後、民主主義の理念の下、戦前の「国防婦人会」が各地域の婦人連盟の結成へとつながり、昭和22年に川崎市婦人連盟が結成され、川女連の発足母体となりました。その後、昭和27年に結成された「全国地域婦人団体連絡協議会(全地婦連)」にも参加しました。戦後混乱期から、生活の改善、教育問題、女性の意識改革や平和運動などについて勉強会や講演会を企画し開催して参りました。

昭和60年に成立した「男女雇用機会均等法を始め、近年益々女性が社会へ進出する機会は多様化し、それは川女連も目的とした動きであり、歓迎すべき傾向であることは間違いありません。川女連は、生活環境、意識変化に応じて、現在では「文化部」「平和女性

部」「環境消費部」「子育て支援部」として活動を続けて参りました。この様々な活動は、他の女性会にも決して劣らない内容であると自負しております。

しかし、女性の社会への進出は、また勉強や経験をする機会の多様化でもあり、地域に根ざす川女連の会員の増加は思うようにならないことは、仕方のないことでした。

また、様々な活動に参加した会員の高齢化も避けられない状況で、長年続けていた「芸能大会」「芸能のつどい」「平和のつどい」「子育て電話相談(平成31年まで)」の続行も難しい事態となり、休会に至りました。休会に当たり、綿々と受け継がれてきた諸先輩方に敬意を表するとともに、今後の女性達の一層の活躍を期待しております。

川女連の活動にご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。

第73回全国女性団体研究大会 in 沖縄

会長 岩崎 香代子



令和7年11月25、26日宜野湾市の沖縄コンベンションセンターにて開催され、参加致しました。

25日、開会式に続き特別講演「首里城復興について」。講話「琉球料理をユネスコ遺産登録へ」。

そして「平和」「健康と福祉」「環境(エネルギー)」の3分科会に分かれ、各々勉強しました。私は「平和」の分科会に参加し、在日米軍基地の70%が沖縄にあるという現実を改めて知り、沖縄県民の置かれている立場を考えさせられました。

26日も記念講演「人づくりの種をまく」があり、盛り沢山の内容で沖縄女連の熱意を感じる大会でした。

関東ブロック大会 in 栃木

副会長 橋本 明美

令和7年10月31日(金)あしかがフラワーパークプラザ文化ホールに、関東ブロック1都1市9県から参加がありました。

来賓の方々の祝辞の後テーマ「生誕100年相田みつを展」と題して篠原誠司氏(足利市立美術館学芸員)より相田作品の書の魅力や芸術性について話されました。
つまずいたっていいじゃないか にんげんだもの
しあわせはいつも自分のところがきめる
相田みつをは書や詩など、数々の作品を遺しました。

基調講演は「男女共同参画の推進と地域づくり」について、とちぎ市民協働研究会代表理事廣瀬隆人氏は無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)の気づきの大切さを、そして地域によって大きな違いがあると理解する事が必要であると話されました。



防災講座 2025年11月28日(金)

台風や集中豪雨の気象災害から身を守るために

日本気象予報士会の田口 大氏を講師にお招きして気象の観点から災害時の注意点についてお話いただきました。

主催 川崎市地域女性連絡協議会
後援 川崎市教育委員会
講師 日本気象予報士会 神奈川支部 田口 大氏

空の予兆を読み解こう



頂上部分が平らかなとこ雲の下は雷雨

ここ数年頻発している台風や集中豪雨が襲ってきた際の重要なポイントをお伝えします。まず警戒すべきは「積乱雲」です。頂上が平らな「かなとこ雲」が見えたら、その下は激しい雷雨の恐れがあります。

危険は五感で察知できます。①真っ黒い雲の接近 ②雷鳴 ③急な冷たい風 これらは積乱雲接近の合図であり、直ちに安全確保が必要です。

また、五感に加えスマホ等での情報収集も不可欠です。気象庁のウェブサイト「**雨雲の動き**」や「**キキクル(危険度分布)**」で客観的な危険度をリアルタイムに確認し、感覚とデータを組み合わせることで、避難判断の確実性は高まります。

災害時、人は「自分は大丈夫」と思い込む「正常化の偏見」を持ちがちです。しかし近年の気象変化は局地化・激甚化しておりかつ急激です。空の異変や防災情報で危険が示されたら、この心理を自覚し、「空振りでも良い」という意識で早めに避難行動を取ることが命を守ります。日頃から空を見上げ、変化を感じ取る習慣をつけていただければ幸いです。

防災講座アンケートより

- ◆ 気象災害が増えているので、これからどうしたらよいか気になっていた。
- ◆ 近年の気象災害がどうして多発するようになったのか。気象のメカニズムを理解して、事前に察知できる方法と準備、防災にどう役立てることができるかを聞いたかった。

日本気象予報士会について

日本気象予報士会 神奈川支部 新海 康雄

本会は「会員の技術の研鑽」「気象を通しての社会への貢献」「会員相互の親睦・情報交換」を主な目的として、1996年に設立された気象予報士の全国的な組織です。

主な活動内容

- 自治体や地域住民への防災出前講座、様々な気象現象のメカニズムの解説や気象に関する話題提供等の講演
- 小・中・高校での気象に関する出前授業
- 気象関連機関との連携
- 防災気象講座(出前講座)の開催

一般市民を対象に「気象災害から身を守る」ための知識普及を目的として、北海道から沖縄まで全国の日本気象予報士会各支部会員が地元の地方気象台と連携して防災講座を開催しています。

特に神奈川支部では2010年に全国に先駆けて防災気象講座を開催し、主な活動の中心をなしております。



新海氏(中央左)と田口氏(同右)を囲んで

● 講演会での気づき

- ◆ 「雲」に注目! 積乱雲の見方、とらえ方が分かった。
- ◆ 気象情報「キキクル」を検索、活用できる。

● 身を守るためには

- ◆ 自分を過信しない! 自分は安心ではない!
- ◆ 気象情報を確認しながら、どのような対応をすればよいのか再確認して行動に繋げたい。
- ◆ 気象庁の防災情報サイトを見る。防災マップの再確認をする。非常時には、みんなと協力する。

川女連が開催参加してきた活動のご報告

私たちはこれまで消費者の目線で国や神奈川県、川崎市の審議会に参加したり、環境消費について考え、北方領土をはじめとする平和活動に参加し、子育て支援の電話相談に協力し、芸能のつどいを開催するなど、多岐にわたって活動を繰り広げてきました。2025年が最後となりましたが1年間の活動をご報告します。

第46回市民祭りに参加

2025年11月1日(土) 2日(日) 3日(月)



晴天に恵まれた3日間、今年も川女連は総合受付のお手伝いをしました。川崎駅前周辺から様々なイベントが同時開催されてとても賑わう中、人気のブースはどこですか？一番近いお手洗いはどこ？などのお問い合わせにてきぱきとご案内して、たくさんのありがたうの言葉をいただきました。(山本 洋子)

もったいないパーティを開催

2025年3月19日(水)

グリーンコンシューマーグループかわさきの鷹取順子さんと徳野千鶴子さんをお招きして、家にある食材を持ち寄ってその場でメニューを考えるもったいないパーティを教育文化会館の調理室で行いました。



六つの班に分かれて集まった食材の中からサラダやグラタン、生春巻き、おしるこなど思いついたメニューを料理してバイキング形式でおいしくいただきました。(橋本 明美)

年末助け合いに協力

2025年12月9日(火)

川崎市男女共同参画センター(すくらむ21)では、毎年11月に困難な状況にある女性のための支援物資と義援金を募集しています。川女連は今年も微力ながら協力して集まった物資と寄付金を送りました。すくらむ21の活動は男女を問わずDV・ジェンダー・一人親の生活困難・就職活動におけるスキルアップなどに幅広く対応しています。(大橋 弘子)



黒岩神奈川県知事との対話の広場に参加

2025年11月19日(水)

毎年恒例になっている知事との対話の広場川崎会場に参加しました。今年は神奈川観光親善大使を務めるタレントの石ちゃんこと石塚英彦さんと、國學院大学で観光街づくりを教える楓千里先生も加わって、‘まるっと’神奈川観光～東海道でつなぐ食探訪～をテーマに県のおいしいものと観光の可能性について語り合いました。



川崎の高校生とおつけもの慶がコラボして開発されたというチーズ入りキムチが紹介され、三人が試食してとても味わいがあるおいしいとのこと、この新しい試みが販売されるそうなので楽しみです。(青木 真理)

紙コップブービーとゴムパッチン作りを出展

2025年6月21日(土)

男女共同参画センターで開催されたすくらむ21まつりに参加して紙コップブービーとゴムパッチンの作り方を教えました。紙コップに穴をあけ、爪楊枝にタコ糸を結んで垂し、魔法の水をかけたティッシュで引っばると、すごい音が鳴ってみんなビックリして会場は大はしゃぎです。ゴムパッチンも小さい子供が「飛んだ飛んだ！」と大喜びで、とても賑やかで大盛り上がりのすくらむ21会場となりました。



そして11月1日に行われた東海道川崎宿スタンプラリーのゴール地点にも川女連として初めて手作りおもちゃのブースを出展しました。子どもたちは紙コップブービーの大きな音に引き寄せられて、色とりどりのシールで自分だけの紙コップを完成させていました。(牧山 美枝子)

映画「蟻の兵隊」を見て

2025年11月29日(土)

川崎市平和館で、中国大陸で戦った元日本兵のドキュメンタリー映画「蟻の兵隊」が上映されました。太平洋戦争終結後も日本軍の命令に従って残留した日本兵は、中国国民党の兵士として中国共産党と戦いました。

やっと昭和二十九年に帰国できたものの、日本政府は彼らを脱走兵として扱ったので元日本兵の奥村和一さんたちは裁判を起こしました。さらに奥村さんは真相を求めて中国に行き、日本軍の軍司令官と中国国民党が交わした密約書類を見つけましたが、裁判では負けてしまいました。私は中国残留兵士の事を初めて知りました。真相はもう分からないのかと悔しくて悲しく思います。(大橋 弘子)

感動のフィナーレ | 芸能のつどい | 2026年3月20日

すばらしい歌舞音曲をありがとうございました 幸文化センター



マリンバコンサートに参加 矢澤 登志子



川崎市幸区在住のマリンバ奏者、奥平哲也さんのコンサートを川女連では年間行事の一つとして楽しみにしています。

今年は8月にミュージザ川崎で開催されました。マリ

ンバの木の温もり、あたたかく包み込むような音色、奏でる音が皆様の心をやさしく、元気を与えて下さると思います。「奥平の曲」は豊かな響きが特徴で、気持ちざわついたり、寂しさを感じた時、目をつぶると曲とともに奥平さんの明るく優しいお人柄が伝わってきます。人間を幸せにする奥平さんのコンサート、次回も楽しみにしております。

編集後記



川女連、休会前の最終号の「女性かわさき」発行となりました。講演会や研修会、芸能のつどい、などを開催し多くの川崎市民の皆さんと活動を共にしてきました。会員の高齢化だけでなく、地域とのつながりも薄れ、会員数は減るばかりで、今日に至りました。

永年「女性かわさき」をお読みいただきありがとうございました。
(和田 三恵子)